

城のある都市復活

福岡城だより

2012.7

JULY

NO. 34



二の丸西側 しょうぶ園

連携して相互に

発展しましょう

藤香会副会長 毛屋 嘉明



藤香会は明治二十四年初代福岡市長山中立木氏の尽力で発足しました。昨年一二〇周年を迎え、菩提寺である崇福寺の黒田家墓所に記念碑を建立し、一六代黒田家当主長高様をお迎えして除幕式を行いました。毎年、黒田家のご遺徳を顕彰するとともに、古き良きものを後世に継承するために多くの行事を行っています。

また私は、昨年度から中島前理事の後を受けた市民の会理事に就任しましたが、藤香会と福岡市民の会(略称)は相互に協力し合って発展しております。

理事会で平成二十三年度及び平成二十四年度の事業計画を拝見して、市民の会では理事や会員が一丸となって、どんたく舞台、観月の宴、観桜の宴、史跡探訪バスツアー、歴史観光市民大学、福岡城の整備、マップ作成など、発足以来地道に、発展的に事業を継続してこられたことを強く感じました。

また今年は、「福岡城むかし探訪館」が城内に設置され、古地図や再現模型を通じて、福岡城を身近に、楽しく体験できる施設が出来ました。広大な石垣が残る福岡城跡に名城を復活させ、観光客の誘致と回遊性を高め福岡市のランドマークにする第一歩が出来たと喜んでおります。

今年は、「どんたく舞台」もその横の目立つ広場に設営され、五月四日には黒田長高様ご一家をお迎えして、「どんたく松囃子」も古式通りに上の橋から入場し「一束一本」の儀式も執り行われました。

これからも「藤香会」や「黒田縁学会」など関係団体との連携も密にして、それぞれの役割に応じて運営できれば相互に発展できるものと思ております。

NPO法人 福岡市民の会 第8回総会開かれる

平成24年6月14日開催の第8回総会に於いて下記の事項が承認されました。

総会報告

開催日時 平成 24 年 6 月 14 日 (木)

14 時～16 時

開催場所 福岡市中央区赤坂 1-16-5

読売新聞西部本社 1F

よみうりプラザ



審議事項

1 号議案 平成 23 年度事業報告に関する件

2 号議案 平成 23 年度貸借対照表及び活動計算書に関する件

3 号議案 平成 24 年度事業計画に関する件

4 号議案 平成 24 年度活動計算書（予算）に関する件

報告事項

平成 24 年度事業計画及び同活動計算書（予算）の策定後に次の事項が生じたのでその経緯を報告する。

(1) 「福岡城むかし探訪館」について

(2) 建設弘済会の平成 24 年度公益事業による支援助成事業について

(3) 博多どんたくの実行予算について

5 月 28 日（月）の理事会を経て総会が開催され、無事終了したことを会員の皆様にご報告します。

詳細につきまして質疑事項がございましたら当会へお尋ねください。

【第1号議案】平成 23 年度事業報告に関する件

1 事業の成果

観桜の宴は平成 22 年度は見送り 23 年度は該当はなかった。観月の宴は、平成 22 年度と 23 年度の 2 年間は開催を見送った。そのほかの研究・啓発事業は例年どおり実施した。

殊に、本年度は建設弘済会の支援事業が加わり福岡城下町マップの一部分を完成させた。更に、内閣府・福岡県主管支援の「新しい公共」の場づくりのためのモデル事業の実行委員会を 5 月 11 日に設立したが、この事業には当 NPO が実行委員会に参加するとともに事務局を担当した。この事業に精力的に取り組み多大の成果を挙げた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の予定数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（千円）
イベント開催 どんたく舞台	どんたく舞台	5 月上旬	福岡城跡	50 人	市民 19,000 人	5,447
イベント開催 観月の宴	観月の宴	9 月中旬	福岡城跡	50 人	中止	0
イベント開催 観桜の宴	観桜の宴	3 月下旬	福岡城跡	30 人	4 月開催のため 24 年度にすれば込み 166	「さくらまつり」 の特集広告料
研究・啓発 史跡探訪 バスツアー	史跡探訪 バスツアー	5 回／年	福岡・熊本 ・宮崎	3 × 5 回	市民 40 × 5 回	0
研究・啓発 歴史観光 市民大学	歴史観光 市民大学	6 月～11 月	よみうりプラザ	5 × 20 回 2 × 4 回	市民 100 × 20 回 市民 40 × 4 回	900
調査・研究 福岡城の実態 に係る事業	福岡城の実態 に係る事業	適宜、適切に推進する				0
研究・啓発 機関誌発行	機関誌発行	4 回／年	事務所		3,000 部 × 4 回	408
資料制作 (建設弘済会支援 事業)	福岡城下町 マップ作成	平成 23 年 4 月	事務所	20 人		250

(実行委員会事業 新しい公共支援 事業)	福岡城・鴻臚館 の将来に向けた 市民参加 プロジェクト	平成 23 年 9 月 ～24 年 3 月	一	一	一	一
----------------------------	--------------------------------------	--------------------------	---	---	---	---

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所	従事者の予定期数	支出見込額（千円）
募金活動事業	個人・団体への 募金活動	随時	随所	若干名	見込額上せず

【第2号議案、第4号議案の活動計算書】

平成 23 年度実績及び平成 24 年度予算

（金額単位：千円）

23 年度実績		24 年度予算	
収入の部			
会費	2,111	2,300	
受取寄付金	17	20	
親桜の宴	0	0	
どんたく舞台	5,090	2,500	
歴史観光市民大学	1,129	1,200	
「新たな公」古代首道	37	0	
史跡探訪バスツアー	60	150	
福岡城散策マップ	22	0	
福岡城下町マップ	250	500	
受取利息	1	0	
雑収入	56	0	
合 計	8,773	6,670	
支出の部			
親桜の宴	166	200	
どんたく舞台	5,447	2,800	
観月の宴	0	100	
歴史観光市民大学	900	900	
福岡城むかし探訪館支援	0	200	
機関誌	408	450	
史跡探訪バスツアー	0	50	
福岡城下町マップ	250	500	
小 計	7,171	5,200	
管理費	1,344	1,450	
予備費	0	0	
合 計	8,515	6,650	
当期正味財産増加額	258	20	
非収益控除額	54	20	
控除後の正味財産増加額	204	0	

【第3号議案】平成 24 年度事業計画に関する件

平成 24 年度には、どんたく舞台、観月の宴及び観桜の宴等イベント事業や、福岡歴史観光市民大学の実施等、従来からの事業に加え、昨年度から当会が事務局になっている「新しい公共」支援事業「福岡城・鴻臚館の将来に向けた市民参加プロジェクト」の 2 年目事業に、より内容を充実して取り組む。また福岡市が計画している「福岡城むかし探訪館」の受託業務に当会が代表団体となり、構成団体と共同企業体を組み精力的に対応する。

本年度は NPO 承認 7 年目を迎え、心新たに多岐に亘る活動に活発に取り組んでいく。

事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の予定期数	受益対象者の範囲及び人数	支出見込額（千円）
イベント開催 どんたく舞台	どんたく舞台	5 月	福岡城跡	50 人	市民 10,000 人	2,800
イベント開催 観月の宴	観月の宴	10 月	福岡城跡	10 人	3,000 人	100
イベント開催 観桜の宴	観桜の宴	25 年 3 月	福岡城跡	10 人	5,000 人	200
研究・啓発 史跡探訪 バスツアー	史跡探訪 バスツアー	7 回／年	九州管内	3 × 7 回	市民 30 × 7 回	50
研究・啓発 福岡歴史観光 市民大学講座	福岡歴史観光 市民大学講座	6 月～11 月	よみうりプラザ	4 × 30 回	市民 100 人 × 30 回	900
研究・啓発 機関誌発行	機関誌発行	4 回／年	事務所		市民 3,000 部 × 4 回	450
資料制作 (建設弘済会支援 事業)	福岡城下町 マップ作成	25 年 3 月	事務所	20 人	制作部数未定	未定

実行委員会事業 (新しい公共支援 事業)	福岡城・鴻臚館 の将来に向けた 市民参加 プロジェクト	年度内	一	未定	未定	内容検討
----------------------------	--------------------------------------	-----	---	----	----	------

定款の事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所	従事者の予定期数	支出見込額（千円）	支出し見込額（千円）
共同企業体受託 事業（当会が代表 団体）	福岡城むかし探訪 館	25 年 3 月	福岡城・鴻臚館	未定	未定	未定

*その他、福岡城に係る事業に公的機関等からの依頼を受けた場合は、共催、後援、支援で協力する

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所	従事者の予定期数	支出見込額（千円）
--------	------	-------	---------	----------	-----------

定款の事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所	従事者の予定期数	支出見込額（千円）
--------	------	-------	---------	----------	-----------

定款の事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所	従事者の予定期数	支出見込額（千円）
--------	------	-------	---------	----------	-----------

定款の事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所	従事者の予定期数	支出見込額（千円）
--------	------	-------	---------	----------	-----------

定款の事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所	従事者の予定期数	支出見込額（千円）
--------	------	-------	---------	----------	-----------

定款の事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所	従事者の予定期数	支出見込額（千円）
--------	------	-------	---------	----------	-----------

定款の事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所	従事者の予定期数	支出見込額（千円）
--------	------	-------	---------	----------	-----------

定款の事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所	従事者の予定期数	支出見込額（千円）
--------	------	-------	---------	----------	-----------

定款の事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所	従事者の予定期数	支出見込額（千円）
--------	------	-------	---------	----------	-----------

定款の事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所	従事者の予定期数	支出見込額（千円）
--------	------	-------	---------	----------	-----------

定款の事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所	従事者の予定期数	支出見込額（千円）
--------	------	-------	---------	----------	-----------

定款の事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所	従事者の予定期数	支出見込額（千円）
--------	------	-------	---------	----------	-----------

定款の事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所	従事者の予定期数	支出見込額（千円）
--------	------	-------	---------	----------	-----------

定款の事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所	従事者の予定期数	支出見込額（千円）
--------	------	-------	---------	----------	-----------

定款の事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所	従事者の予定期数	支出見込額（千円）
--------	------	-------	---------	----------	-----------

定款の事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所	従事者の予定期数	支出見込額（千円）
--------	------	-------	---------	----------	-----------

定款の事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所	従事者の予定期数	支出見込額（千円）
--------	------	-------	---------	----------	-----------

定款の事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所
--------	------	-------	---------

福岡城探訪

千代町「崇福寺」

大変に古い禅寺で二つの顔を持つ禅寺として歴史を有する古刹である。

正式には横嶽山崇福寺と称し、臨濟宗大徳寺派に属する禅寺です。

今から七七〇年前の仁治元年（一四〇）、大宰府の横嶽に建立されたお寺である。

当時の名僧であった随乗房・湛慧が建て、その翌年の仁治二年には中国の「宋」から帰つて来た弁円（後の聖一国師）がこの寺を借りて開堂説法をしている。その時、宋の国・経山・仏鑑国師から贈られた「勅賜万年崇福寺」書を掲げお寺を命名されたと記されている。

それ故にその翌年の寛元元年（一二四三）時の天皇である八十八代後嵯峨天皇より承天寺（聖一国師建立）と共に官寺に列せられ、「西都法窟」の勅額を下賜されたお寺である。



黒田家菩提寺

し荒廃した。

その後慶長五年（一六〇〇）筑前国

守として移封された黒田長政の入国によつて京都大徳寺第百十一代春屋宗圓の懇請により現在の千代の松原の地に崇福寺を移し造営した。更に黒田長政

は寺領三百石に加えて開山堂領をも寄進した。以来、黒田家歴代の菩提寺の一つとして位置づけられ、境内奥に黒田家一門の墓所があり、博多、福岡を支えた多くの歴史的に有名な方々の墓所もある。

※「大宰府」の表記は、古代・中世は「大」、現在は「太」を使用。

かし探訪館」は、早くも開館五十七日目（六月一日）にして来館者が一万人を突破することができました。

当館は、福岡城を身近に楽しく体感できる施設です。ガラス張りの床と古地図（昔の自分家を探してみませんか？）、精度の高い城と町並みの模型、わかりやすい城の案内映像、福岡城を中心とした貴重な書籍など、福岡城を取り巻く情報を集約した展示になつています。また、観光案内ボランティアによる解説により、エリアの魅力を伝え、散策を楽しめるように情報の提供もおこなっています。一度ご来館をお待ちしています。



福岡城むかし探訪館

第50回 福岡市民の祭り

博多どんたく 港まつり

福岡城どんたく演舞台報告



今年のどんたくは「福岡城むかし探訪館」の紹介も兼ねて、この建物の横に舞台を設置し開催しました。黒田家第十六代当主長高様ご家族をお迎えし、上の橋から城内に入つてきた博多松囃子三福神流れに「祝うたあ」の儀礼を受け、稚児流れ同様、一束一本を渡されました。今年は近くの学校の楽器演奏が何組も出演し、充実した舞台に多くの観客の方々が楽しめていました。

会員からのよもやま話

福岡城・鴻臚館「お城めぐり」ガイドを通して感じたこと

正生
河邊下
員會

四年ほど前より「お城めぐり」が
イドの一員として市民の皆様をご案
内してきましたが、その中で感じた
ことを記してみます。

福岡城・鸿臘館は国内でも有数の歴史的文化遺産であることはご承知の通りであります。だが参加された市民の皆様の大部分の方が歴史的価値を殆どご存知ではありませんでした。まして一般市民の皆様に於いては尚さらと危惧する次第であります。

また、自分の周りを見回してみても、この歴史的文化遺産に対する認識や関心の度合いは極めて低く無き

は等しいと存じます。
だからこそ福岡のランドマークとして、歴史的文化遺産の価値や将来の有るべき姿を標榜し、グランドデザインを描きそれを指し示し、その実現に向けて官民挙げて行動を起こすことが不可欠だと認識いたしてお

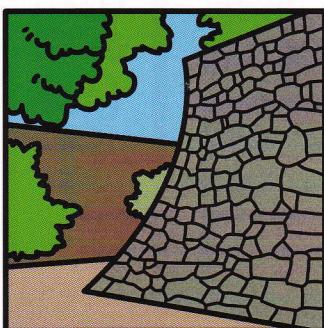
しかし、大変厳しい経済財政情勢
下一〇〇億円単位の規模の事業が簡
単に推進できるとは考えられないの
が現状であります。これを可能なら
しめる推進力は何といつても一般市
民の声とそのバックアップが不可欠
です。

画餅に帰す・机上の空論に終わらせない為にも、我々ガイドが「むかし探訪館」に常駐し、プラン実現の一助となる遣り甲斐のある案内業務に専念出来るようになればと考えております。

毎号一頁位を割いて「福岡城・鴻臚館特集」を一年・二年・三年位の単位での継続した取り組みが、市民の皆様の認識や関心を高めプラン実現の大きな推進力になるのではと存じます。

昨年より動き出した「福岡城・浄脈館」の
将来を市民と考える実行委員会の主催に
より福岡城内の清掃活動を開始します。
年四回（九月・十二月・三月・六月）の
予定ですが、十月に「ゴールデンオール
ディーズ・ワールドラグビーフエスティバル
福岡大会」で歓迎レセプションが福岡城
で開催されるとのことで、おもてなしの意
味を込めて今回の十月も清掃をおこなう
ことにしました。

福岡城内クリーン化
福岡城内のゴミをひろって
美しくしませんか！



編集後記

今年度の総会は、正会員のみならず一般会員の方々も多数出席され、熱心に議案を確認されていました。

むかし探訪館や福岡城清掃活動など、少しづつ福岡城に目が向けられています。皆様の声を頂きながら、当会も積極的に関わっていきたいと思っています。会員の皆様の更なるご協力よろしくお願い致します。

編集・発行 鴻臚館・福岡城歴史・観光・市民の会

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-12-15 読売福岡ビル7階
TEL 092-716-8238 FAX 092-716-8254
HPアドレス <http://fukuokajokorokan.npgo.jp/>
E-mail fukuokaj@tos.bbiq.jp
「デザイン・印刷」 城島印刷株式会社



井筒川串澤月林藤岐志
照光洋秀憲樹二子男雄
下河邊吉綿口尾松富内
慎正生明朗美浪日千鶴子
淑子

新規会員名簿(平成24年6月30日現在)